スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県高砂市

自 治 体 名 ： 兵庫県高砂市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 079-443-9054

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

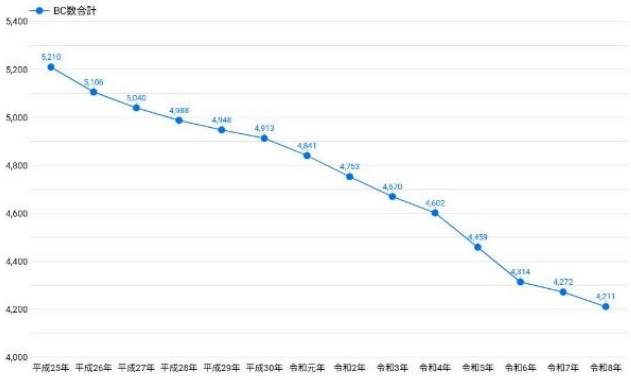
面積	34.38㎢
人口	86,182人
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	2,243人
部活動数 （運動部活動のみ）	56部活
地域クラブ活動数	6クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

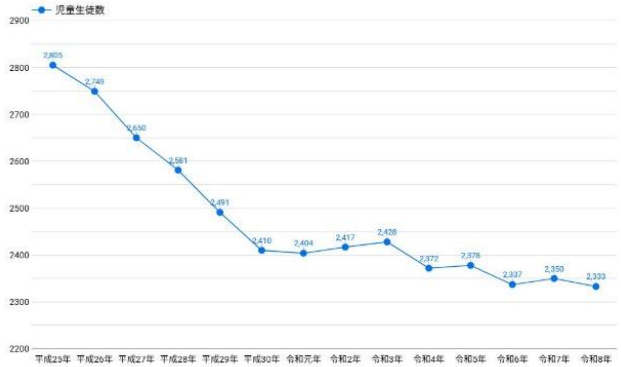
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

高砂市は、6校の公立中学校があり、生徒数2,243人で部活動は56部活動が活動している。令和7年度（2025年）の児童・生徒数は6,502人で10年後の令和17年度（2035年）の児童・生徒数は4,779人と約30%減となる予測です。現状のままでは学校ごとに部活動を続けることができなくなる。

高砂市において、中学生が地域で多様なスポーツ・文化活動に親しむことができる環境をつくるための体制整備が必要である。令和5年度より、「高砂市部活動の地域展開に関する検討委員会」を設置し、地域で展開する新たな活動を推進するため制度化に向けて検討を積み重ねてきた。そして本年度、「高砂市地域クラブ推進計画」を策定し、令和9年8月末をもって中学校部活動を順次終了とし、令和9年9月から展開可能な部活動から地域展開を進め、令和10年4月から中学生が地域の方々とスポーツ・文化等の活動を行う地域展開を実施する方針を示した。高砂市の方針を示すとともに「高砂市地域クラブ募集要領」を制定し、高砂市地域クラブ活動団体募集説明会を行い、活動団体を募集している。

令和10年4月の高砂市地域クラブに向けて、中学校部活動の地域展開を段階的に進めており、地域全体でこどもたちの豊かな学びと成長を支える高砂市地域クラブの充実を目指している。



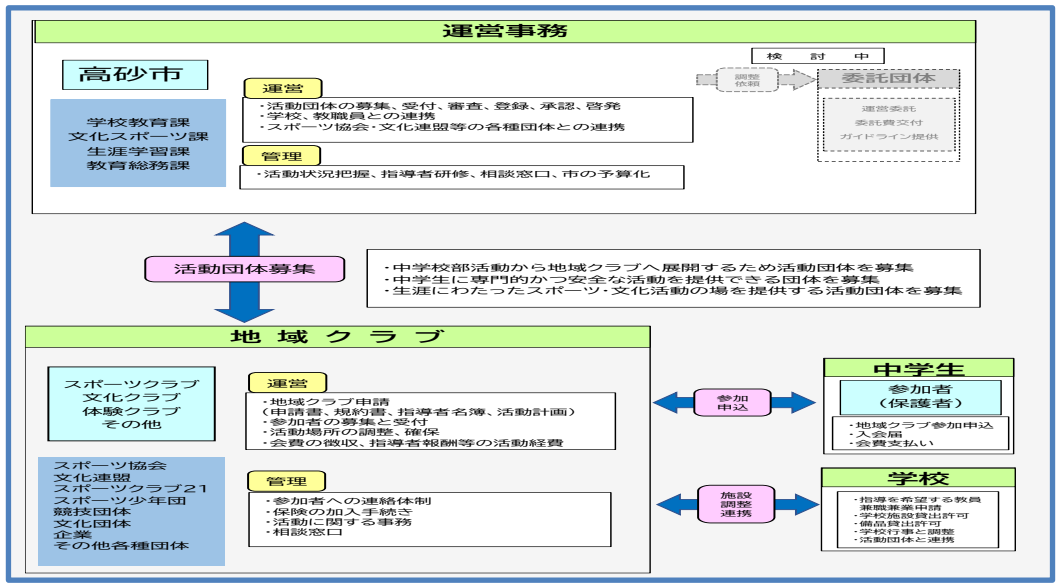


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
・学校教育課…部活動地域展開の推進、学校との連携、スポーツ協会、各種団体との連携、活動団体の確保等
・教育総務課…学校施設の整備、学校施設使用団体との調整
・生涯学習課…各種団体との連携

◉首長部局
・文化・スポーツ課…スポーツ協会、各種団体との連携、公共施設との連携
・財政課…予算措置
・企画課…企画調整
・公共施設マネジメント室…学校施設の整備

◉コーディネーター
・庁内委員会、検討委員会設置要綱策定・高砂市地域クラブ推進計画策定・高砂市地域クラブ募集要領策定
・各種スポーツ協会等との連携調整・各中学校との連携調整・部活動地域展開に係る実証研究推進・アンケート調査
・地域クラブに伴う課題把握・部活動地域展開推進事業計画策定・教育振興事業（部活動地域展開推進）経費積算

年間の事業スケジュール

令和7年　4月　サッカー地域クラブ実証研究実施
　　｜　　ソフトボール地域クラブ実証研究
令和8年　3月
令和7年　4月　第1回検討委員会の開催
令和7年　5月　第1回庁内委員会の開催
令和7年　5月　スポーツ協会・文化連盟等理事会参加
令和7年　5月　小学生アンケート実施
令和7年　5月　中学校部活動担当者会参加
令和7年　6月　第2回検討委員会の開催
令和7年　6月　6中学校教職員説明会実施
令和7年　7月　第2回庁内委員会の開催
令和7年　8月　第3回庁内委員会の開催
令和7年　9月　高砂市地域クラブ推進計画制定
令和7年　9月　高砂市地域クラブ募集要領制定
令和7年　9月　第1回高砂市地域クラブ活動団体募集説明会実施
令和7年10月　第2回高砂市地域クラブ活動団体募集説明会実施
令和7年11月　高砂市地域クラブ募集開始
令和7年11月　ハンドボール地域クラブ実証研究（男子・女子）
令和7年11月　第4回庁内委員会の開催
令和7年11月　第3回検討委員会の開催
令和7年12月　6中学校にて小学生保護者説明会開催
令和8年　1月　よさこい地域クラブ実証研究実施
令和8年　1月　野球地域クラブ実証研究実施
令和8年　2月　6中学校入学説明会参加
令和8年　3月　第5回庁内委員会の開催
令和8年　3月　第4回検討委員会の開催
令和8年　3月　地域クラブ登録団体ヒアリング開始

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		6クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		5クラブ（5部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	35人	全体の運営スタッフ数	5人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
A.C高砂 J.H.S.UNITED	高砂市	サッカー	・休日　年50回	9:00～12:00	1年22名 2年14名 3年14名	4月～3月	8人	5人	3,000円	中体連：地域クラブ
高砂ソフトボールクラブ	高砂市	ソフトボール	・休日　年50回	8:30～11:30	1年3名 2年5名 3年6名	4月～3月	4人	5人	3,000円	中体連：地域クラブ
松陽ハンドボールクラブ	高砂市	ハンドボール	・休日　年6回	9:00～12:00	1年15名 2年13名	11月～3月	6人	5人	実証研究中 会費なし	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●各種スポーツ協会等の関係機関と連携して、活動団体の確保に向けて啓発活動を実施してきた。各地域クラブは、体験会・見学会、部員募集を実施している。

2.実証内容と成果

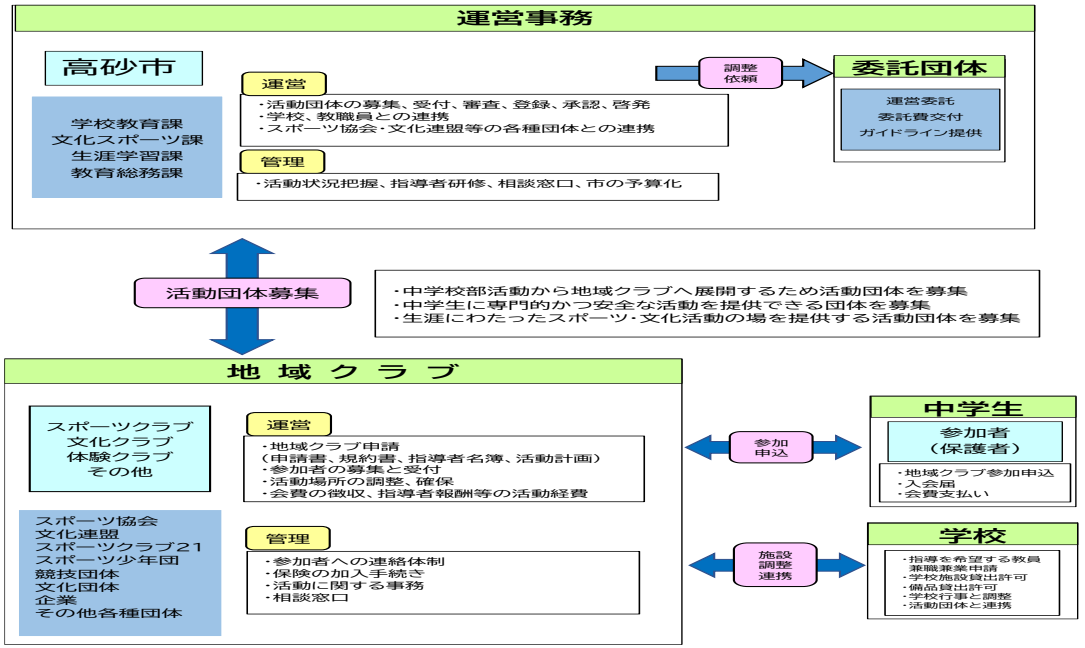
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、ソフトボール、ハンドボール、野球、よさこい
運営団体名	高砂市
期間と日数	サッカー4月～3月（年50回程度） ソフトボール4月～3月（年50回程度） ハンドボール男子11月～3月（年6回程度） ハンドボール女子11月～3月（年6回程度） 野球1月～3月（年6回程度） よさこい10月～3月
指導者の主な属性	中学校教職員、各スポーツ協会委員、地域住民
活動場所	中学校運動場、高砂市スポーツ広場、地域交流センター
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等	サッカー：月3,000円 ソフトボール：月3,000円 ハンドボール：会費なし 野球：会費なし よさこい：会費なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●代表者
　役割：活動における管理を行う
　　活動計画・活動報告等、生徒、保護者と連携、事務局と連絡調整
●地域指導者　3名以上
　役割：活動において生徒への指導を行う
●スタッフ
　役割：活動において、指導者の補助を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○ 部活動コーディネーターが中心となって、部活動地域展開の推進を行う。また、学校とスポーツ協会等の団体へ部活動の地域展開に関する連絡調整を行い、活動団体の確保に努める。
○ 高砂市部活動の地域展開に関する庁内委員会・検討委員会を開催し、高砂市中学校部活動の在り方について、地域で展開する新たな活動を推進する。そして、中学生にとってふさわしいスポーツに親しめる環境を構築する。
○ 運営体制の整備を行い、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

今後の取組における課題

○ 現時点では教育委員会が事務局となって推進している。高砂市教育部と健康子ども部等と連携を図り、事務局をつくり、企画・運営・管理等を行う。
○ 認定地域クラブとして、事務局と学校と各種スポーツ協会等の関係団体と連携を更に深め、活動団体を募る。
○ 活動に係る経費等について、地域クラブの運営費について検討する。

取組の成果

○ 令和5年度より、「高砂市部活動の地域展開に関する検討委員会」を設置し、地域で展開する新たな活動を推進するため制度化に向けて検討を積み重ねてきた。そして本年度、「高砂市地域クラブ推進計画」を策定した。
○ 令和9年8月末をもって中学校部活動を順次終了とし、令和9年9月から展開可能な部活動から地域展開を進め、令和10年4月から中学生が地域の方々とスポーツ・文化等の活動を行う地域展開を実施する方針を示した。高砂市の方針を示すとともに「高砂市地域クラブ募集要領」を策定し、 高砂市地域クラブ活動団体募集説明会を行い活動団体を募集している。

課題への対応方針

○ 地域クラブ運営体制の整備を行い、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
○ 認定地域クラブとして制度設計し、登録団体へのヒアリングを行い適切指導および安全・安心を確保する体制整備を行う。
○ 活動に係る経費等について、公費負担と受益者負担について、実証研究を踏まえて検討する。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

【部活動コーディネーター】
- 高砂市部活動地域展開におけるスケジュール策定
- 高砂市部活動の地域展開に関する庁内委員会の調整、企画
- 高砂市部活動の地域展開に関する検討委員会の調整、企画
- 高砂市地域クラブ推進計画策定
- 高砂市地域クラブ募集要領策定
- 各種スポーツ協会等の団体との連絡調整やヒアリング等を実施
- 各首長部局との連絡調整
- 中学校部活動地域展開に伴う説明会の企画、実施
- アンケート調査の計画実施
- 地域クラブに伴う課題把握
- 部活動地域展開推進事業計画策定
- 教育振興事業（部活動地域展開推進）経費積算

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○ 地域クラブ募集要領を制定し、高砂市地域クラブ活動団体募集説明会を実施した。説明の内容は以下の通りである。
- 部活動地域展開スケジュール
- 高砂市地域クラブの基本目標、方針
- 学校部活動と地域クラブのちがい
- 地域クラブの応募資格

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

○ 高砂市地域クラブ募集要領において、高砂市地域クラブの活動団体を募集した。地域クラブ参加団体は高砂市地域クラブ申請書、クラブ規約書、クラブ指導者名簿、地域クラブ年間活動計画書を地域クラブ申請時に提出する。
○ 申請書をもとに、活動団体の代表者と面談を行い、適正な地域クラブとして認定する。
○ 部活動改革および地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインに準拠した運営を行っているか確認する。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

○ 活動団体の代表者と面談を行い、活動中の事故やトラブル等が発生した場合の責任者が明らかであり、その解決に向けての体制が整備されているか確認する。
○ 生徒・保護者・指導者等との緊急連絡体制を整える。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○ 各種スポーツ協会等の関係団体へ専門性のある地域指導者の協力を依頼する。
○ 各種スポーツ協会等へヒアリングを実施し、協力への意向を聞き取る。
○ 教職員等の兼職兼業の仕組みを含み、地域指導者による複数体制を構築する。
○高砂市教育部と協働部と連携を図り、地域指導者の確保に努める。
〇指導者連絡会を計画し、地域指導者の質の補償等へ取り組む。

取組の成果

○ 各種スポーツ協会等の関係団体と連携を図り、教職員と地域指導者が連携して生徒への指導にあたった。活動指導に関わることを希望する教員は、兼職兼業の申請を行った。
○ 専門性の高い地域指導者と教職員がともに関わることで、お互いに指導力が高まり、生徒のニーズに合った指導となった。
○ 地域クラブからの活動計画や活動報告により、活動状況等を把握し、連携を図ってきた。

今後の取組における課題

○ 地域クラブとして適切な運営のための体制整備が必要である。
○ 事務局、学校、地域指導者、各種スポーツ協会代表が集まり、更に指導者連絡会を行う等の取組が必要である。
○ 認定要件に沿って、市が審査の上、地域クラブに認定する。
○ 地域指導の質の補償等のため、指導者研修会の計画が必要である。

課題への対応方針

○ 専門性の高い地域指導者として、適切な指導及び安全、安心の確保のために研修制度を構築する。
○ 認定要件に基づき、高砂市地域クラブの認定を行う仕組みを構築する。
○ 地域クラブの活動が中学生のニーズに応じた活動体制として継続できるよう事務局が地域クラブと更に連携を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○ 校長会において、高砂市として中学校部活動から地域クラブへの地域展開について、高砂市部活動改革の方向性を説明する。
○「高砂市地域クラブ推進計画」を制定し、令和9年8月末をもって中学校部活動を順次終了とし、令和9年9月から展開可能な部活動から地域展開を進め、令和10年4月から中学生が地域の方々とスポーツ・文化等の活動を行う地域展開を実施する方針を示す。
○ 高砂市の方針を示すとともに「高砂市地域クラブ募集要領」を制定し、高砂市地域クラブ活動団体募集説明会を行い活動団体を募集している。
○ 各種スポーツ団体等の会合に出向いて、高砂市の部活動地域展開の取組及び今後の方針等を説明し、協力依頼する。

取組の成果

○ 部活動コーディネーターが各種スポーツ協会等の関係団体とのパイプ役を担い、地域クラブを確保するための役目を担っている。
○ 地域団体の方々が部活動の地域展開に参画することにより、地域の活性化につながる。
○ 地域クラブ募集説明会を実施し、活動地域展開を説明することにより、協力団体が増えている。

今後の取組における課題

○ 地域クラブとして適切な運営のための体制整備が必要である。
○ 高砂市の実情に応じた認定要件を見直し、地域の方々が参画しやすい認定制度を検討する。
○ 高砂市地域クラブ募集要領において、見直しが必要である。
○ 地域クラブについて、小学生や保護者、地域の方々への情報提供が必要である。

課題への対応方針

○ 地域クラブ確保には幅広いスポーツ団体等との連携が必要である。
○ 今後は、多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる啓発と連携の強化が必要である。
○ 高砂市認定地域クラブとして募集要領を再検討する。
○ ホームページ等を利用して、地域クラブ情報を知らせる。
○ 地域展開だよりを作成し、地域クラブの登録情報を公表する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

○ 自校に該当する部活動のない生徒が参加できる地域クラブの体制整備を図る。
○ 生徒のニーズに応じた種目の活動ができる地域クラブの体制整備を図る。
○ 小学生のスポーツ・文化活動等への興味や希望を把握するためアンケート調査を実施する。

取組の成果

○ サッカー地域クラブとして、市内のサッカー部と地域のサッカークラブが連携し、自校に部活動のない生徒も参加できる体制が整備された。
○ 他のスポーツ種目も実証研究として進め、部活動地域展開の分野を拡充、拡大する予定が立った。
○ 小学4年生から6年生へ部活動地域展開に係るアンケート調査を実施し、小学生のスポーツ・文化活動等への興味や希望を把握できた。

今後の取組における課題

○ 小学生アンケートの実施から得られた課題を解決していく。
○ 生徒のニーズに応じた種目の地域クラブへの取組が必要である。
○ 平日の地域クラブとしての活動について課題がある。
○ 地域クラブの活動において、校区を越えての取組となるため、移動手段の安全性への課題がある。
○ 平日の活動において、17時以降の活動となるため夜間照明等の課題がある。

課題への対応方針

○ 地域クラブとして市内のどの学校からも参加できる体制を整備する。
○ アンケート調査によるニーズの高い活動種目の活動団体を確保する。
○ 平日の地域クラブの実証研究ができるよう体制整備を図る。
○ 地域クラブ活動の移動手段の自転車移動等において、安全教室等の講習計画や取り組みを検討する。
○ 平日の地域展開実証研究を実施し、平日の地域展開における課題への対応を検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

○学校と地域の各種団体等が連携して、中学生にとってふさわしいスポーツ活動の場をどのように実現するのかを推進する。
○専門性の高い指導者を確保し、生徒のニーズに応じた指導ができる体制を整備する。
○休日の地域展開を推進し、教員の負担軽減を行う。
○平日の地域展開を実施し、課題への対応を検討する。
○地域クラブの方針を理解できるよう地域クラブ団体への啓発を行う。

今後の取組における課題

○見学会・体験会の啓発については課題である。
○活動団体の運営において課題が見えてきた。
○どの地域クラブにおいても専門性の高い指導者が確保できるとは限らない。
○地域クラブの平日の活動においては、施設整備等の改善が必要である。

取組の成果

○地域クラブの実証研究として、市内6校の中学生、小学生高学年に呼びかけて、実証研究、体験会等を行った。休日の地域展開として、活動場所に集合し、専門の地域指導者から指導を受けた。
○地域クラブは、複数の指導者の係わりにより安心できる活動となった。
○休日の地域指導者の指導により教員の負担軽減となっている。
○平日の実証研究として、夜間照明施設のある施設で行った。
○地域クラブ団体の趣旨説明において、地域の活性化を踏まえた理解が得られた。

課題への対応方針

○見学会・体験会について、小中学生が参加しやすい状況へプロデュースする。
○活動団体の運営を把握し、先を見据えた活動計画を想定する。
○今後、人材確保のため各種スポーツ協会等の活動団体を中心に幅を広げていく取組を検討していく。
○地域クラブの平日の取組において、照明設備等の準備を今後検討する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○ 地域クラブ会費について、適正な受益者負担額を算出する。また、地域クラブの運営に係る費用を検討する。
○ 公費負担と受益者負担について、実証研究を踏まえて検討する。
○ 他市町の参加費用負担の支援状況を把握し参考とする。
○ 困窮家庭への支援を検討する。
○ 施設使用料等の費用を軽減できるよう検討する。
○ 活動に係る費用において、実証研究に取り組んでいる団体から状況を聞き取り参考とする。

今後の取組における課題

○ 平日の地域展開における体制整備が必要である。
○ 受益者負担額が低廉な費用となるよう検討が必要である。
○ 困窮世帯への支援内容の検討が必要である。
○ 活動種目により活動に係る費用の違いがあり、今後の展開について検討が必要である。
○ 活動団体の回数により、会費設定の適正化の検討が必要である。

取組の成果

○ 地域クラブの実証研究において、活動費用負担の項目が顕著となった。
○ 休日の地域展開について、指導者の年間の指導回数を設けることで予算額の見通しが立てられた。
○ 地域クラブの会費については、可能な限り低廉な会費設定とした。
○ 困窮家庭への支援について、関係部署との理解や連携が深まった。

課題への対応方針

○ 平日の地域展開が推進できるよう体制整備を行う。
○ 公費負担と受益者負担について更に検討し困窮世帯への支援を検討する。
○ 参加費用負担、困窮家庭への支援については、近隣市町等の情報を参考にしたり、検討委員会において意見を聞いたりして、市としての方針を検討する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○公共施設と学校施設を使用した実証研究を実施し、課題を把握する。
○各部局と連携を図り、活動しやすい環境を構築する。
○部活動の学校施設利用や道具等の管理等について検討する。
○施設使用において、施錠等のシステム化に向けて検討する。
○地域クラブ活動場所の確保のため社会体育等の施設使用団体との調整を行う。

今後の取組における課題

○活動場所の管理等のため施錠等の施設整備の課題がある。
○学校備品や部活動の道具等の整備の確認が必要である。
○地域クラブの学校施設使用について、体育館使用の調整が必要である。
○平日の運動場等においての活動は、１７時以降の活動となるため夜間照明等の課題がある。
○活動道具の保管について、保管場所の検討が必要である。

取組の成果

○地域クラブは学校施設を基本の活動場所とし、必要に応じて、公共施設等を活動場所とする。
○地域クラブ実証研究により、活動場所の施設整備等の課題が見えた。
○実証研究により必要な学校備品と消耗品について確認ができた。
○施設担当部署と連携を図り、施錠システム等の検討は進んできた。
○地域クラブ団体は中学校施設利用を優先とした。

課題への対応方針

○活動場所のスマートロックの導入、キーボックス等による鍵の受け渡し、照明設備等の施設整備の予算化に向けて検討する。
○各学校備品と部活動の道具の在り方について検討する。
○地域クラブの平日の取組において、照明設備等の準備を今後検討する。
○地域クラブごとの活動備品や道具の保管について検討を行う。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より高砂市庁内委員会、検討委員会を設置し、部活動の在り方について検討してきた。高砂市としてスポーツ協会等の各種団体と連携を図りながら、活動団体を確保してきた。令和7年9月高砂市地域クラブ推進計画を策定した。令和10年4月から中学生が地域の方々とスポーツ・文化等の活動を行う地域展開を実施する方針を示した。新たな地域クラブ体制を構築するため地域クラブ募集要領を策定し、地域クラブ活動団体を募集している。

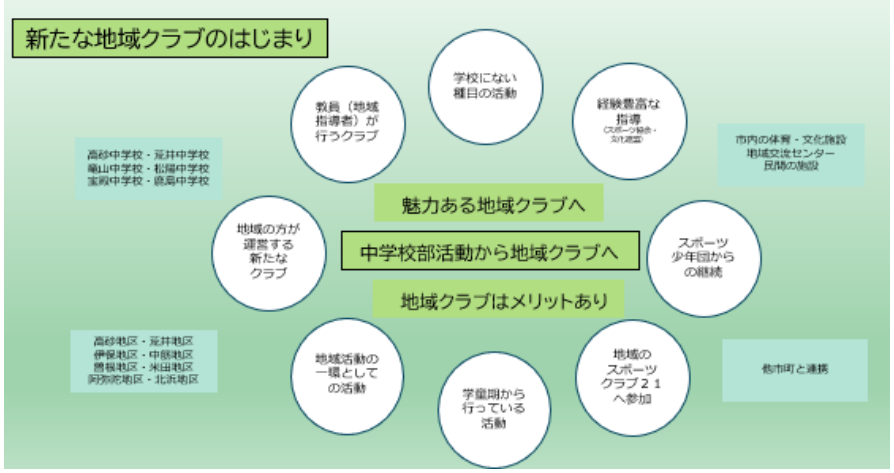
令和8年度は、活動団体となる地域クラブへヒアリングを行い認定していく予定である。今後も部活動地域展開に向けて推進していく。

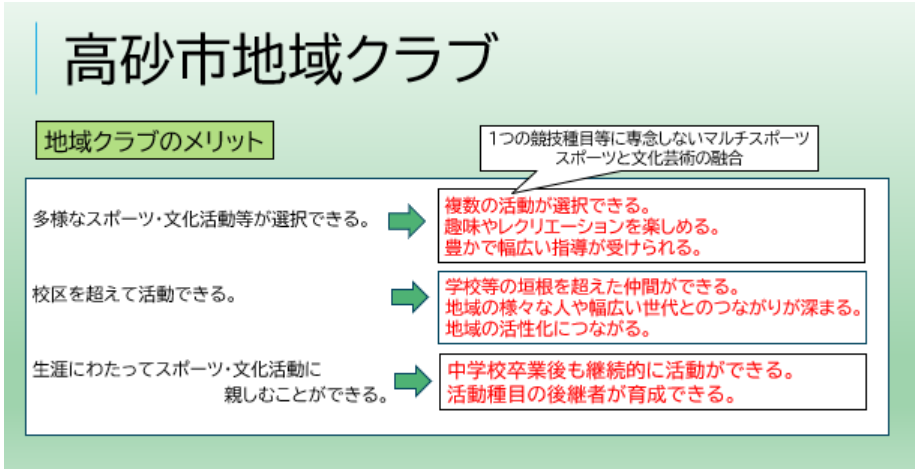
●成果の評価

○ 高砂市として中学校部活動から地域クラブへの地域展開の方針を示した。
○ 令和7年9月高砂市地域クラブ推進計画を策定した。
○ 令和7年9月高砂市地域クラブ募集要領を策定した。
○ 高砂市地域クラブ活動団体説明会を開催し、活動団体確保のため取組を進めている。

●今後に向けて

○ 令和8年度は、活動団体となる地域クラブへヒアリングを実施し認定していく予定である。
○ 生徒のニーズに応じた活動種目を増やす働きを行う。
○ 新たな地域クラブが、中学生にとって、スポーツ・文化活動に親しむことができる持続可能なクラブとなるように部活動地域展開の推進を図る。





2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

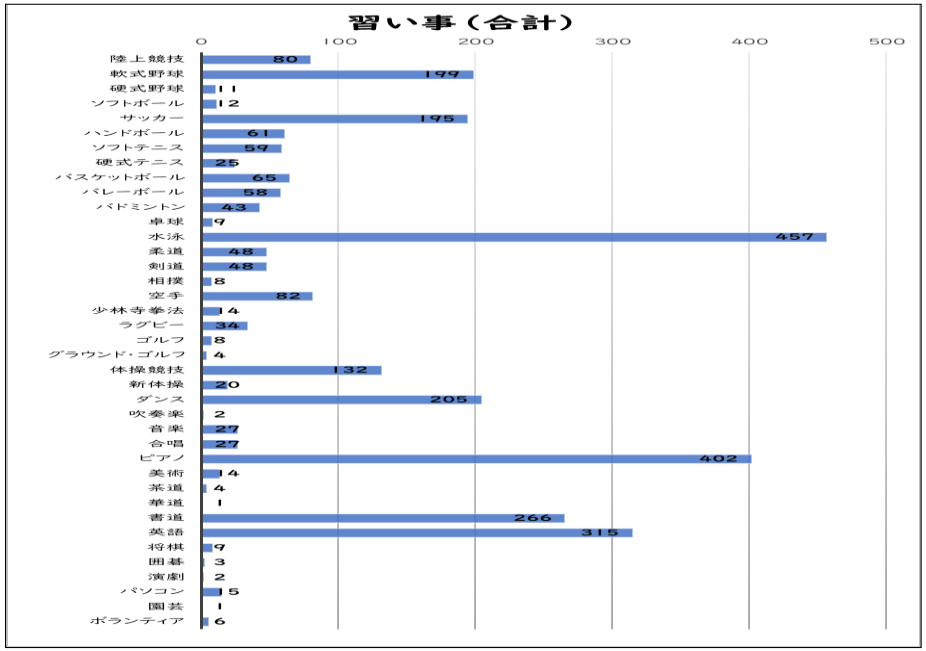
●アンケート結果

部活動地域展開に係る小学生アンケート調査の結果について

1　実施時期　　令和7年5月19日(月)～5月30日(金)
2　調査対象者　高砂市立小学校児童(4年生・5年生・6年生)
　　(回答数 2,186 件)

○質問

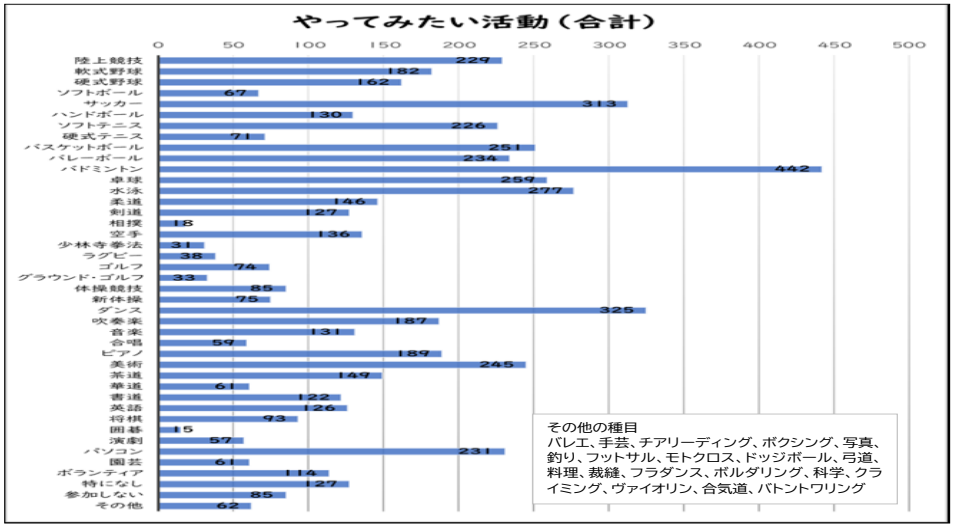
あなたは、どんなスポーツや文化などの習い事をしていますか。ただし、学習塾は除きます。
(複数回答可)



○考察
・水泳、ピアノ、英語、書道、ダンス、軟式野球、サッカー、体操競技の８種目は突出しており、地域で習い事としてのニーズの供給体制があると推察する。
・小学生が実際にしていること、興味・関心・家庭の支援のある活動が明確となった。

○質問

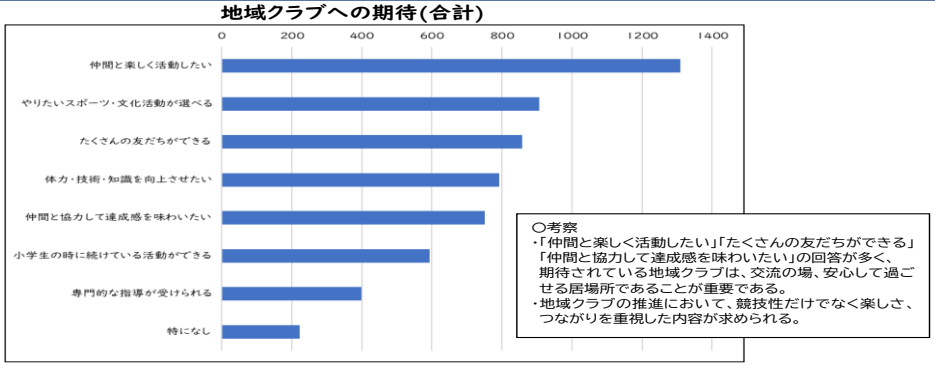
地域クラブで活動するとすれば、どんな活動を行ってみたいですか。地域クラブとなると地域の方が指導者となります。回答した種目が地域クラブとして実現するとは限りません。(複数回答可)



○考察
・バドミントン・サッカー・ダンスは圧倒的な人気である。芸術系・語学・伝統文化にも幅広く関心がある。
・多様な価値観・関心があり、多種多様な選択肢が必要である。

○質問

あなたは、地域クラブにどのようなことを期待していますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答可)



○考察
・「仲間と楽しく活動したい」「たくさんの友だちができる」「仲間と協力して達成感を味わいたい」の回答が多く、期待されている地域クラブは、交流の場、安心して過ごせる居場所であることが重要である。
・地域クラブの推進において、競技性だけでなく楽しさ、つながりを重視した内容が求められる。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料

【部活動地域展開だより】

部活動地域展開だより

令和７年５月

高砂市教育委員会

部活動の地域展開　(NO.2)

１　背　景

○少子化に伴う部活動数の減少、学校における働き方改革等により従来の学校単位での部活動の運営が困難となり、持続可能性という面で厳しさが増しています。
○地域において、中学生のニーズに応じたスポーツ・文化活動を楽しくかつ安全・安心に実施できる環境整備が求められています。

２　目　標

「中学生が、地域で多様なスポーツ・文化活動に親しむことができる環境をつくる。」

３　めざす姿

○中学生が、多様なスポーツ・文化活動を選択できるようにします。
○地域での活動は、人と人とがつながり、楽しく、安全・安心に活動できるようにします。

４　方　針

令和10年4月「部活動」から「地域クラブ」へ

※令和10年4月で、休日、平日ともに学校部活動を廃止し、地域クラブへ展開する。

５　地域クラブとは

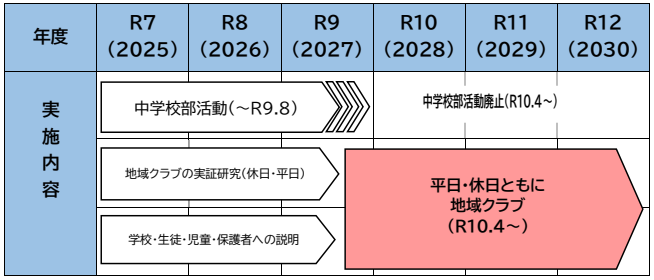
○スポーツ・文化活動をはじめとした幅広い団体が主体となり、中学校の施設等を活用し、スポーツ・文化活動の場を中学生に提供します。
○地域クラブは、学校教育外の活動であり、社会教育法上の「社会教育」の一環として行います。
○中学生が、「技術の向上をめざす」から「趣味を楽しむ」までの目的に応じた多様な活動に広げます。

６　学校部活動と地域クラブとのちがい

	学校部活動	地域クラブ
位置づけ	学校教育の一環	社会教育の一環
運営主体	中学校	運営団体・活動団体
指 導 者	中学校教員	地域指導者（市教委が認定）
参 加 者	各中学校の生徒（中学生）	高砂市在住の生徒（中学生）
活動場所	高砂市の学校施設	高砂市の学校施設、高砂市の施設、民間の施設等
費　用	部費・対外試合等派遣費	月会費等
保　険	日本スポーツ振興センター災害共済	スポーツ安全保険

７　スケジュール

令和10年4月で、休日、平日ともに学校部活動を廃止し、地域クラブへ展開する。



※令和9年9月から、地域展開が可能な部活動は、地域クラブとなる。
　地域クラブとしての活動団体がない種目の部活動は順次終了となる。

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
R7 入学生	中1 学校部活動 実証研究	中2 学校部活動 実証研究	中3 学校部活動 実証研究			
R8 入学生 (現小6)		中1 学校部活動 実証研究	中2 学校部活動 実証研究	中3 地域クラブ		
R9 入学生 (現小5)			中1 学校部活動 実証研究	中2 地域クラブ	中3 地域クラブ	
R10 入学生 (現小4)				中1 地域クラブ	中2 地域クラブ	中3 地域クラブ
R11 入学生 (現小3)					中1 地域クラブ	中2 地域クラブ
R12 入学生 (現小2)						中1 地域クラブ

【お問い合わせ先】　高砂市教育委員会　学校教育課
〒676-8501　高砂市荒井町千鳥１丁目１番１号
電話（079）443-9054

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年度

庁内委員会において検討
検討委員会において検討

部活動地域展開準備
- 部活動コーディネーター配置
- 部活動の在り方について方針検討
- 庁内委員会による検討
- 検討委員会による検討
- スポーツ協会、文化連盟、自治会、地域企業、小、中学校PTAへ地域移行の趣旨説明
- 学校、各種団体等との調整（活動団体及び指導者の確保）
- 部活動の地域移行に係る実証研究
  サッカー部年間通じて休日50回
  ソフトボール部、陸上部の実証研究
  （課題把握、地域移行費用概算等）
- 部活動地域展開に向けた研修
- 地域連携移行活動に伴う予算化
- アンケート調査

令和６年度

スポーツ協会等の団体へのヒアリング
指導者確保
実証研究

令和７年度

庁内委員会・検討委員会において方向性を協議
高砂市地域クラブ推進計画策定
高砂市地域クラブ募集要領策定
アンケート調査

- 部活動地域展開段階的実施
- 部活動コーディネーター配置
- 部活動の在り方について方針策定
- 庁内委員会による協議
- 検討委員会による協議
- 学校、各種団体等との調整（活動団体及び指導者の確保）
- 部活動の地域移行に係る実証研究
  サッカー部、ソフトボール部年間通じて休日50回
  ハンドボール部、野球競技部、よさこいの実証研究
  （課題把握、活動費用概算等）
- 高砂市地域クラブ推進計画策定
- 部活動地域展開の学校、保護者へ説明会実施
- 高砂市地域クラブ募集要領策定
- 地域クラブ活動団体募集説明会実施
- 部活動地域展開に向けた研修
- 地域連携移行活動に伴う予算化
- アンケート調査

令和８年度

休日・平日の部活動地域展開
地域クラブ活動団体募集
認定地域クラブのシステム構築
地域クラブ見学会・体験会の実施
アンケート調査

部活動地域展開段階的実施
- 部活動コーディネーター配置
- 段階的に地域展開
- 庁内委員会による協議
- 検討委員会による協議
- 地域クラブ活動団体募集
- 認定地域クラブヒアリング
- 部活動の地域展開に係る実証研究
  運動部年間通じて休日50回
  （課題把握、活動費用概算等）
- 地域展開事務局体制整備
- 地域指導者研修の在り方検討
- 活動団体の運営について協議
  （会費、活動場所確保、整備等）
- 保護者負担額の検討
- 地域クラブの啓発活動
- 地域連携移行活動に伴う予算化
- アンケート調査

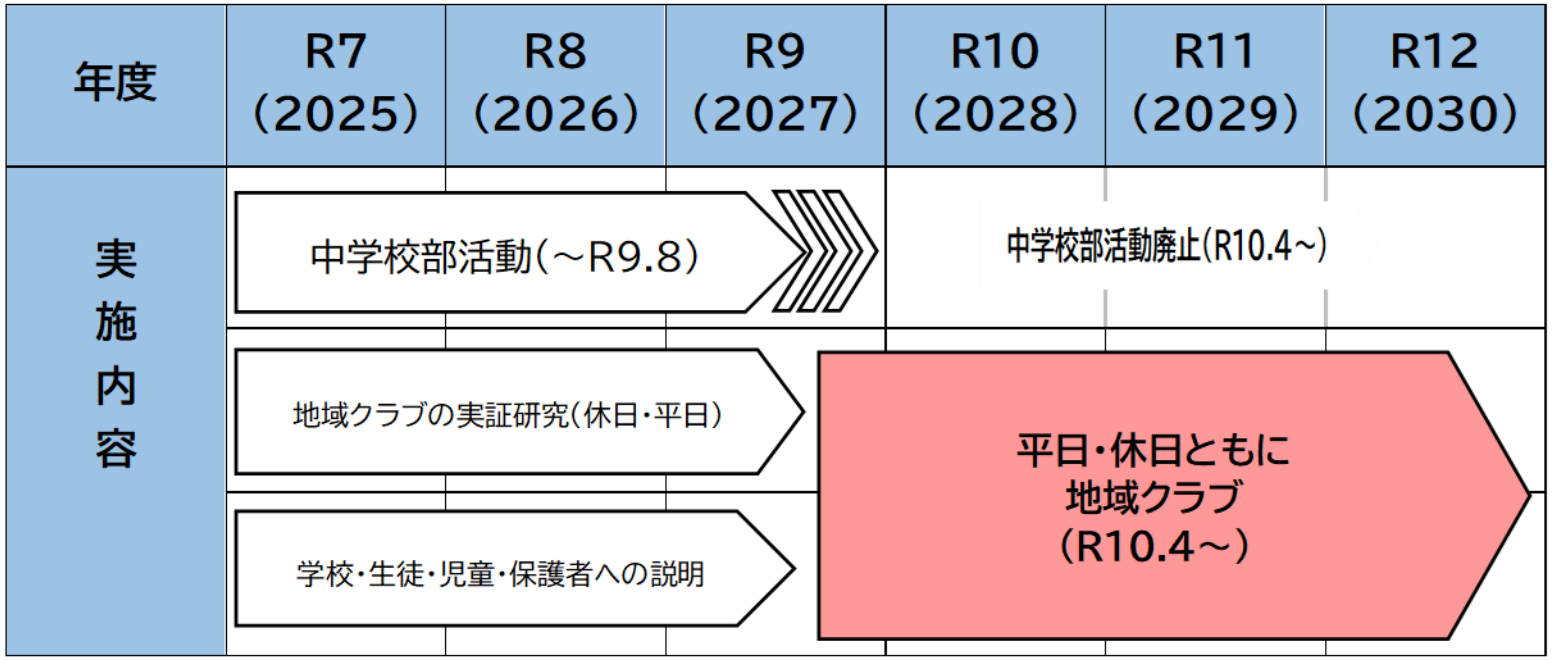
3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

地域展開スケジュール

令和１０年４月で、休日、平日ともに学校部活動を廃止し、地域クラブへ展開する。



※令和９年９月から、地域展開が可能な部活動は、地域クラブとなる。
　地域クラブとしての活動団体がない種目の部活動は順次終了となる。